



2019年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年7月13日

上場会社名 株式会社D Dホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3073 URL https://www.dd-holdings.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松村 厚久
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括 (氏名) 樋口 康弘 TEL 03-6858-6080
 四半期報告書提出予定日 2018年7月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年2月期第1四半期の連結業績 (2018年3月1日～2018年5月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年2月期第1四半期	12,682	60.5	595	△16.2	558	△20.8	339	△23.5
2018年2月期第1四半期	7,901	5.2	711	91.2	704	91.2	444	106.7

(注) 包括利益 2019年2月期第1四半期 237百万円 (△47.7%) 2018年2月期第1四半期 453百万円 (152.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年2月期第1四半期	44.40	—
2018年2月期第1四半期	58.35	58.31

2019年2月期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年2月期第1四半期	28,403	6,081	19.9	739.89
2018年2月期	27,653	5,981	20.3	732.97

(参考) 自己資本 2019年2月期第1四半期 5,661百万円 2018年2月期 5,608百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年2月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2019年2月期 (予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年2月期の連結業績予想 (2018年3月1日～2019年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	25,855	24.0	1,350	△16.0	1,350	△16.3	1,090	△0.0	142.45
通期	51,078	13.3	2,529	14.7	2,597	16.8	1,402	38.8	183.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年2月期1Q	7,821,360株	2018年2月期	7,821,360株
② 期末自己株式数	2019年2月期1Q	169,294株	2018年2月期	169,294株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年2月期1Q	7,652,066株	2018年2月期1Q	7,610,629株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来見通しに関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により本資料記載の予想と異なる可能性がございます。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 第1四半期連結累計期間の全社業績

(単位：千円、%)

	前第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率
売上高	7,901,111	12,682,035	4,780,923	60.5
営業利益	711,238	595,952	△115,285	△16.2
経常利益	704,836	558,409	△146,427	△20.8
親会社株主に帰属する四半期純利益	444,096	339,769	△104,326	△23.5
営業利益率	9.0	4.7	△4.3ポイント	

当第1四半期連結累計期間（2018年3月1日～2018年5月31日）におけるわが国経済は、緩やかな回復基調で推移しており、個人消費も底堅く推移いたしました。しかしながら、一部の国や地域における情勢悪化や貿易面での不安定さが浮き彫りとなり、先行きの不透明感が拭えない状況となりました。

このような環境下、当第1四半期連結累計期間の当社グループの店舗展開状況につきましては、8店舗の新規出店、5店舗の業態変更、2店舗の退店により直営店舗数は431店舗となりました。

以上の結果、当社グループの連結業績は、売上高12,682,035千円（前年同期比60.5%増）、営業利益595,952千円（前年同期比16.2%減）、経常利益558,409千円（前年同期比20.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は339,769千円（前年同期比23.5%減）となりました。

② 第1四半期連結累計期間のセグメント業績

『飲食事業』

(単位：千円、%)

	前第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率
売上高	5,795,214	10,388,781	4,593,567	79.3
セグメント利益	760,700	849,483	88,783	11.7
セグメント利益率	13.1	8.2	△4.9ポイント	

当第1四半期連結累計期間における飲食事業は、従前どおり既存ブランドのブラッシュアップを行いながら、業容拡大並びに更なるブランドポートフォリオ拡充のための業態開発にも注力してまいりました。

主な出店状況につきましては、株式会社ダイヤモンドダイニングにおいては大阪市北区に「薩摩ごかもん 西梅田本店」、株式会社ゴールデンマジックにおいては兵庫県尼崎市に「やきとり〇金 阪神尼崎本店」並びに大阪府枚方市に「九州熱中屋 樟葉LIVE」、株式会社商業藝術においては神戸市中央区に「chano-ma 神戸」、株式会社ゼットンの子会社であるZETTON, INC. においてはハワイ州ワイキキに和食レストラン&バー「ZIGU」を出店するなど首都圏以外の地域や海外での出店にも力を入れてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の店舗展開状況につきましては、8店舗の新規出店、5店舗の業態変更、2店舗の退店により、計376店舗となり、当第1四半期連結累計期間における売上高は10,388,781千円（前年同期比79.3%増）、セグメント利益は849,483千円（前年同期比11.7%増）となりました。

『アミューズメント事業』

(単位：千円、%)

	前第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率
売上高	2,105,897	2,293,253	187,356	8.9
セグメント利益	399,010	419,599	20,588	5.2
セグメント利益率	19.0	18.3	△0.7ポイント	

当第1四半期連結累計期間におけるアミューズメント事業は、各店舗において各種キャンペーンを継続的に実施するとともに、一部の店舗においてはダーツ機の最新機種「DARTSLIVE3」の導入を開始いたしました。

また、店舗内で複数コンテンツを楽しんでいただくための回遊性の向上にも継続して注力してまいりました。

さらに複合カフェにおいては、シアタールームの充実やブース改修等の設備強化を進めるなど、アミューズメント事業各店において新規顧客の獲得並びに既存顧客の満足度向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の店舗展開状況につきましては、前連結会計年度末から変更は無く55店舗であり、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,293,253千円（前年同期比8.9%増）、セグメント利益は419,599千円（前年同期比5.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

連結貸借対照表 要約

(単位：千円、%)

	前連結会計年度	当第1四半期	増減額	増減率
総資産	27,653,048	28,403,525	750,477	2.7
純資産	5,981,215	6,081,617	100,401	1.7
自己資本比率	20.3	19.9	△0.3ポイント	

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ750,477千円増加し、28,403,525千円となりました。主な要因といたしましては、繰延税金資産、投資有価証券がそれぞれ277,640千円、231,563千円減少したものの、現金及び預金、売掛金、預け金、未収入金がそれぞれ753,545千円、192,621千円、168,541千円、120,012千円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ650,075千円増加し、22,321,908千円となりました。主な要因といたしましては、繰延税金負債、未払法人税等がそれぞれ213,114千円、164,914千円減少したものの、長期借入金、買掛金、未払費用がそれぞれ599,784千円、267,583千円、161,188千円増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ100,401千円増加し、6,081,617千円となりました。主な要因といたしましては、その他有価証券評価差額金が110,636千円減少したものの、利益剰余金が212,456千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2018年4月13日付「平成30年2月期決算短信[日本基準](連結)」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

また、2018年7月12日付「平成31年2月期第2四半期連結業績予想の上方修正に関するお知らせ」で公表いたしました第2四半期連結累計期間の業績予想に変更はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、今後につきましては他社の国際会計基準（IFRS）適用の動向等を踏まえた上で、国際会計基準（IFRS）の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,737,014	5,490,559
売掛金	596,107	788,728
預け金	358,714	527,256
商品	21,457	20,003
原材料及び貯蔵品	330,156	341,734
前払費用	852,971	894,827
未収入金	402,185	522,198
繰延税金資産	236,063	249,586
その他	185,477	308,901
貸倒引当金	△5,999	△7,883
流動資産合計	7,714,150	9,135,913
固定資産		
有形固定資産		
建物	17,529,889	17,564,479
減価償却累計額	△8,694,952	△8,843,200
減損損失累計額	△2,546,724	△2,462,343
建物（純額）	6,288,212	6,258,935
車両運搬具	11,566	10,859
減価償却累計額	△9,769	△9,308
減損損失累計額	△0	△0
車両運搬具（純額）	1,796	1,550
工具、器具及び備品	4,996,094	5,031,582
減価償却累計額	△3,698,141	△3,752,230
減損損失累計額	△358,025	△342,857
工具、器具及び備品（純額）	939,928	936,495
土地	148,859	148,859
リース資産	726,395	704,183
減価償却累計額	△614,259	△600,654
減損損失累計額	△72,083	△68,303
リース資産（純額）	40,052	35,226
建設仮勘定	186,946	191,303
有形固定資産合計	7,605,796	7,572,371
無形固定資産		
のれん	3,120,039	3,097,686
商標権	19,458	18,393
ソフトウェア	89,380	83,735
その他	10,660	12,164
無形固定資産合計	3,239,538	3,211,981
投資その他の資産		
投資有価証券	1,980,742	1,749,179
長期前払費用	181,297	170,377
差入保証金	5,452,505	5,482,632
繰延税金資産	946,305	655,141
その他	239,295	148,812
投資その他の資産合計	8,800,146	8,206,143
固定資産合計	19,645,481	18,990,496
繰延資産		
開業費	293,416	277,115
繰延資産合計	293,416	277,115
資産合計	27,653,048	28,403,525

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,289,967	1,557,550
短期借入金	3,100,000	3,110,632
1年内返済予定の長期借入金	3,489,496	3,487,126
1年内償還予定の社債	200,000	80,000
未払費用	1,459,109	1,620,297
未払法人税等	476,476	311,561
賞与引当金	58,609	131,851
株主優待引当金	73,875	54,414
ポイント引当金	47,553	45,191
資産除去債務	12,543	12,725
その他	1,907,994	2,039,500
流動負債合計	12,115,624	12,450,850
固定負債		
社債	50,000	10,000
長期借入金	7,306,123	7,905,907
リース債務	43,336	35,030
資産除去債務	1,589,552	1,591,296
長期前受収益	53,133	28,204
繰延税金負債	386,605	173,490
その他	127,457	127,128
固定負債合計	9,556,208	9,871,058
負債合計	21,671,832	22,321,908
純資産の部		
株主資本		
資本金	699,384	699,384
資本剰余金	688,277	688,277
利益剰余金	3,367,423	3,579,880
自己株式	△71,732	△71,732
株主資本合計	4,683,352	4,895,809
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	773,895	663,258
為替換算調整勘定	151,509	102,609
その他の包括利益累計額合計	925,404	765,868
非支配株主持分	372,459	419,939
純資産合計	5,981,215	6,081,617
負債純資産合計	27,653,048	28,403,525

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2017年3月1日 至 2017年5月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2018年3月1日 至 2018年5月31日）
売上高	7,901,111	12,682,035
売上原価	1,632,739	3,089,939
売上総利益	6,268,372	9,592,096
販売費及び一般管理費	5,557,134	8,996,143
営業利益	711,238	595,952
営業外収益		
受取協賛金	20,438	32,702
受取地代家賃	9,000	18,872
その他	16,573	41,250
営業外収益合計	46,011	92,825
営業外費用		
支払利息	19,914	23,562
支払手数料	5,696	3,918
持分法による投資損失	8,314	75,048
その他	18,487	27,840
営業外費用合計	52,413	130,369
経常利益	704,836	558,409
特別利益		
固定資産売却益	3,664	4,269
受取和解金	—	215,000
特別利益合計	3,664	219,269
特別損失		
固定資産除却損	226	41
減損損失	4,770	—
解約違約金	—	8,000
その他	—	1,400
特別損失合計	4,997	9,442
税金等調整前四半期純利益	703,504	768,235
法人税等	259,483	371,602
四半期純利益	444,020	396,632
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△75	56,863
親会社株主に帰属する四半期純利益	444,096	339,769

（四半期連結包括利益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2017年3月1日 至 2017年5月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2018年3月1日 至 2018年5月31日）
四半期純利益	444,020	396,632
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,986	△110,636
為替換算調整勘定	15,249	△48,899
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,046	—
その他の包括利益合計	9,216	△159,535
四半期包括利益	453,237	237,097
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	434,704	213,464
非支配株主に係る四半期包括利益	18,533	23,632

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2017年3月1日 至 2017年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	飲食事業	アミューズ メント事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,795,214	2,105,897	7,901,111	—	7,901,111
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,795,214	2,105,897	7,901,111	—	7,901,111
セグメント利益	760,700	399,010	1,159,711	△448,473	711,238

(注) 1. セグメント利益の調整額△448,473千円は、主に各報告セグメントに配分していない間接部門費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」において、撤退予定の1店舗等について減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては4,770千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2018年3月1日 至 2018年5月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	飲食事業	アミューズ メント事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,388,781	2,293,253	12,682,035	—	12,682,035
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,388,781	2,293,253	12,682,035	—	12,682,035
セグメント利益	849,483	419,599	1,269,082	△673,129	595,952

(注) 1. セグメント利益の調整額△673,129千円は、主に各報告セグメントに配分していない間接部門費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(投資有価証券の売却について)

当社は、2018年6月12日に資産の効率化と財務体質の強化を図るため、投資有価証券として保有する上場株式の一部を売却いたしました。当該株式売却により、2019年2月期第2四半期連結累計期間において、投資有価証券売却益（特別利益）685,830千円を計上いたします。